

## 英語科教育学分野

### 高木修一研究室

#### 研究概要

量的データを中心とした英語教育学の実証研究を行っています。読解メカニズムや言語テストに関する研究が中心ですが、英語教育研究メソドロジーや小学校英語など関連分野の研究も進めています。

#### 修了生の修士論文題目

- Effects of Causal-based Cues on Memory of Narrative Text Among Japanese EFL Readers
- Validation of an Empirically Derived, Binary-choice, Boundary Definition Rating Scale for Reading-to-write Task
- The Effects of Indirect Feedback with Metalinguistic Information on L2 Learners' Written Accuracy
- The Relationship Between Foreign Language Reading Anxiety and L2 Proficiency Among Japanese EFL Learners

#### 修了生の進路

修了生の多くは中学校や高校の英語教員になって活躍しています。在学中に採用試験に合格し、採用猶予制度を利用した修了生もいますが、修士論文研究と並行しながら教員採用試験の準備を行っていた修了生が多いです。

#### 進学したい方へ

同じ研究室で卒業論文研究に取り組む3年生と4年生の支援や、学会発表や論文投稿など、様々な研究活動や教育活動に取り組める環境を整えていますので、忙しくても充実した大学院生活を過ごしたい方におススメです。